

赤井川村地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

赤井川村において、唯一の公共交通である中央バス赤井川線が令和4年3月末廃止となり、高校生の通学のほか、買い物や通院等による日常的に利用している自家用車を持たない村民の交通手段を確保するため、令和4年4月より「むらバス」の運行を開始した。

村民のニーズに即し、より持続性が高く、より利便性が高い公共交通を運行することを目的とする。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・むらバスの利用者数を7,000人とする。
- ・むらバスの収支率を20%以上とする。

令和5年度事業概要

運行系統名: 赤井川線

運行区間: キロロ～赤井川市街地～コープさっぽろ余市店前

1日4往復8便(平日)

内フィーダー対象路線 5便

※10月・11月 0便

1日3往復6便(休日)

内フィーダー対象路線 5便

地域公共交通の現況

- ・赤井川村地域公共交通バス（むらバス）
（市町村有償運送 1路線）
- ・スクールバス（1路線）
- ・村内循環温泉送迎バス（第2 第4木曜日
1路線）
- ・ハイヤー会社（1社）

協議会開催状況

【令和5年度】

- ・第1回(6月1日): 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画案
- ・第2回(1月17日): 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価※書面開催

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・村民のニーズ把握のための住民懇談会の開催
- ・利用状況把握のためのビンゴ式アンケートの実施
- ・利用者の利便性向上のためのダイヤ改正、バス停移設
- ・バスマップの作成
- ・利用者の利便性向上のため、関係者との協議

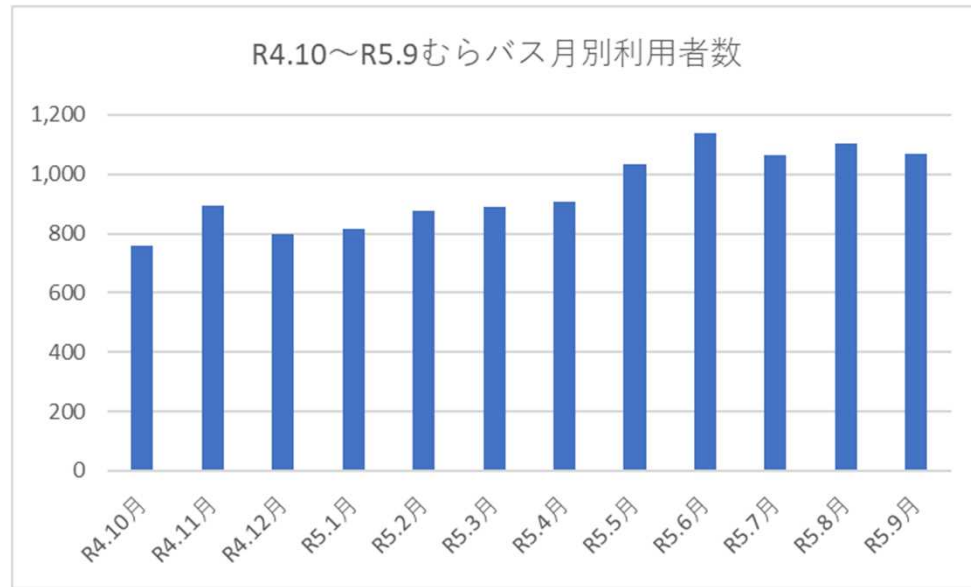
2) 運行系統



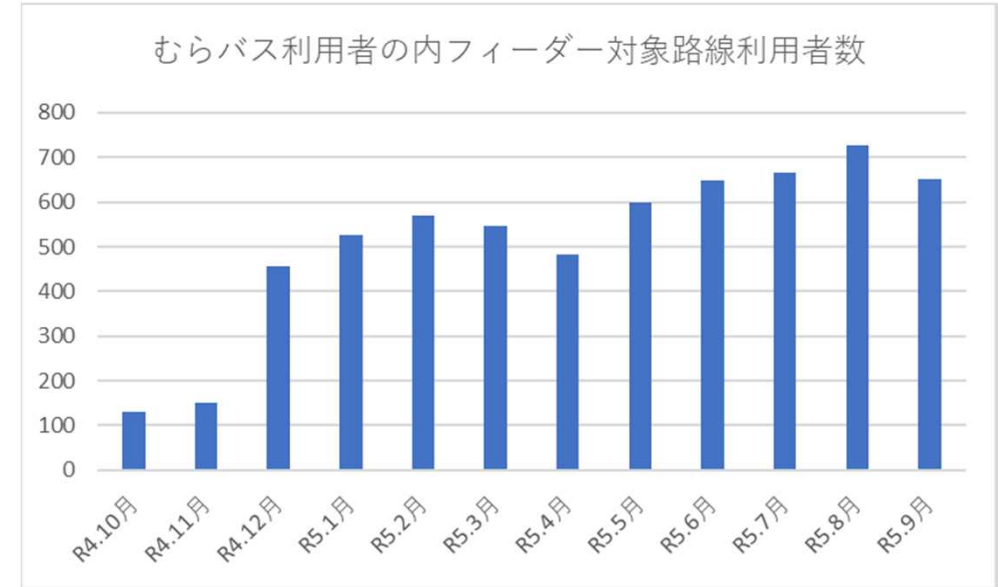


3) 利用実績

利用者数は11,347人

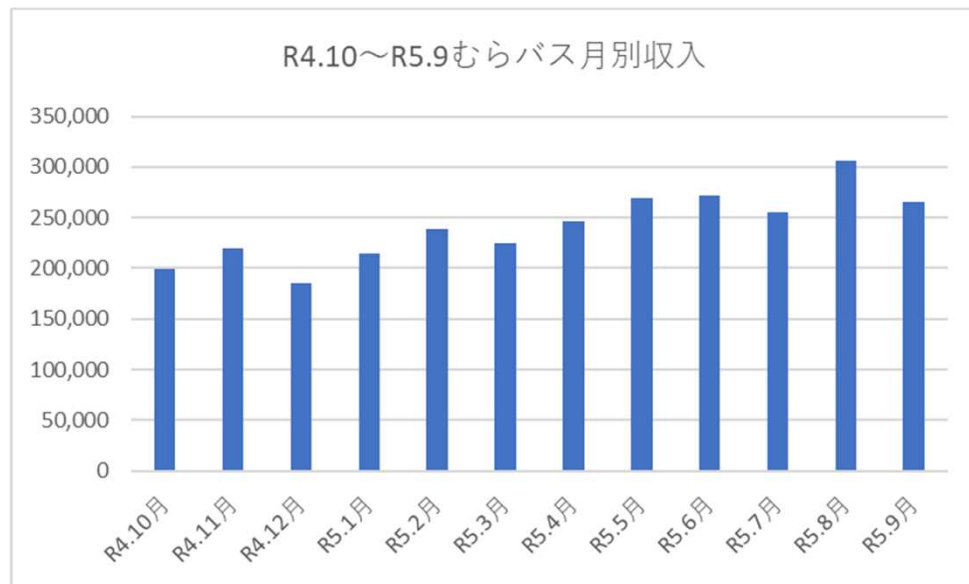


利用者数の内フィーダー対象路線利用者数は6,152人

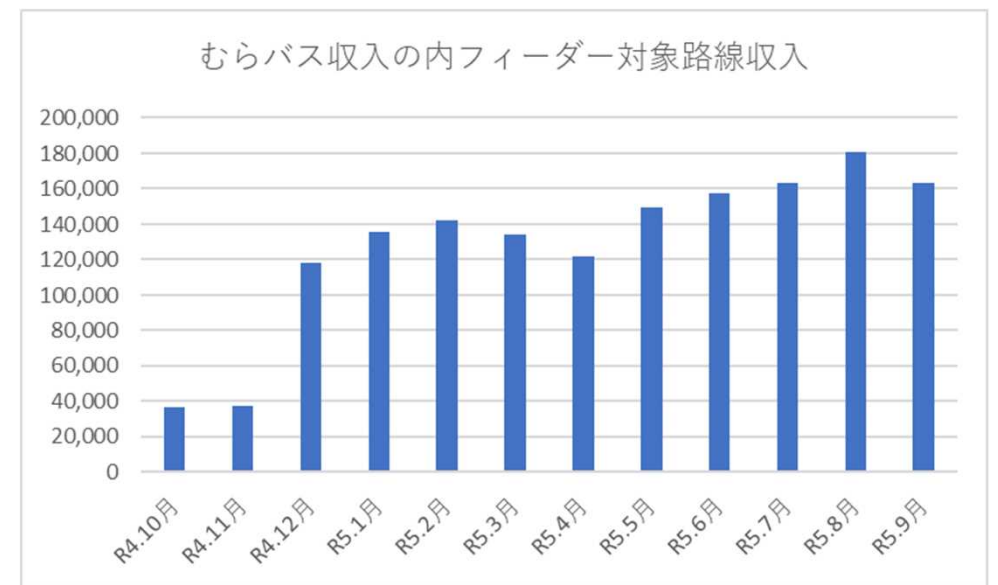


4) 収入実績

年間収益は2,896,160円



年間収益の内フィーダー対象路線収益は1,539,200円



5)事業実施の適切性

- ・計画通りに事業は適切に実施された。

7)事業の今後の改善点

利用実態調査、ニーズ把握のための住民懇談会の開催等を行い、より多くの利用者確保、収支率向上に向け、利用促進のための取り組みを検討する。

6)目標・効果達成状況

むらバスの利用者数7,000人の目標に対し、11,347人であり、目標を達成することができた。

内フィーダー対象路線の利用者は6,152人であった。

むらバスの収支率を20%以上に対し、営業費用17,918千円、営業収益2,896千円であり収支率は16.16%であった。令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)2,139千円(見込み)を収入に加えると収支率28.10%であり、目標を達成することができた。

内フィーダー対象路線の収入は、1,539千円であった。

8)地方運輸局等における二次評価結果

(令和6年度分と併せて評価)